

平成31年度 法科大学院入学者選抜試験問題

憲 法 ・ 刑 法

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、憲法、刑法の2科目で120分です。
3. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明や解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 解答にあたっては、必ず黒か青のペンまたはボールペン(鉛筆は不可)を使用してください。
5. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
  - (1) 受験番号・氏名を所定欄に記入してください。
  - (2) 解答用紙は、憲法2枚、刑法2枚です。2枚目の解答用紙にも受験番号・氏名を記入し、ホチキスは、はずさないで使用してください。
  - (3) 訂正する場合は、＝線で消すなどして、分かりやすく訂正してください。
  - (4) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
6. 問題用紙の余白等は適宜利用してかまいません。
7. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

## 【憲 法】

以下は、架空の事例である。

Xは、東京都A区立中学校を卒業し、都立B高校や私立C高校等を受験したが、不合格となった。Xについての調査書（いわゆる内申書）には、Xが休みの日を利用して、国会前で行われている政権批判のデモに加わり、そうしたことについてのビラ（Xの政権についての考えが綴られ、明確にどの政党を支持するとの文言もあった。または、諸外国との関係や経済について論じることもあった）を、週に1回程度、学校内で配っていることが書かれてあった。さらに、文化祭において、来場者や校内の生徒に向けて、拡声器で主張を述べたり、ビラを全身に貼って廊下を歩くなどして、会場に大混乱を招いたとの記載もあった。

Xは、高校不合格について、これら記載事実が関係するのではないかと考え、A区と東京都を相手として国家賠償請求訴訟を提起しようとしている。Xは、どのような憲法上の主張をすることができるだろうか。反論を想定しながら、論じなさい。

以 上

## 【刑 法】

以下の事実を前提に、具体的事実を指摘しつつ、甲、および乙の罪責を論ぜよ。なお、特別法違反については、論じる必要はない。

- 1 甲と乙は、後輩のXが生意気な態度をとっていることに腹を立てたことから、「痛い目に遭わせてやろう。多少怪我をさせれば懲りるだろう。」と話し合い、Xを深夜の某公園に呼び出すことにした。そこで、甲がXに電話を掛け、深夜の某公園にXを呼び出すと、甲と乙は、やって来たXに対しこもごも殴る蹴るなどの暴行を加えた。これによりXは全治1か月の傷害を負った。
- 2 しかし、Xは、甲乙の予期に反し、なおも生意気な態度をとり続け、特に甲を刺激する罵詈雑言を浴びせかけてきた。甲は気が短いことから、Xの罵詈雑言に対して、「この野郎！ふざけやがって、まだ懲りないのか。そんなに痛めつけて欲しいのか。」などと叫んでいた。乙は、甲の気性を知っていたが、「放っておけよ。負け犬の遠吠えだ。俺は気が済んだから、先に帰るぞ。」と言い残して立ち去った。

数分後、甲は、Xの罵詈雑言に耐えられなくなり、咄嗟に殺意を持ち、乙に黙って隠し持っていたサバイバルナイフを取り出し、倒れているXの心臓付近に同ナイフを突き刺してしまった。

- 3 その直後、Xの弟Yが、甲と乙に兄Xが呼び出されたことを知り、短刀を持って加勢しようと、「兄貴！大丈夫か？」と駆け付けてきたことから、甲はその場から立ち去った。Xの下に駆け寄ったYは、Xの心臓付近にナイフが突き刺さっているのを見て、それを抜き取ったが、大量の血が流れ出てきた様子を見て、これではもう助からないと思い、立ち去る甲に向かい、「お前がやったんだな！絶対に殺してやる！」などと怒号を発しながら甲を追い掛けた。Xはしばらくして出血多量で死亡した。

なお、甲が突き刺したサバイバルナイフはXの動脈を傷つけていたものの心臓自体には達しておらず、ナイフを抜き取らない状態で医療機関の適切な治療を受けていればXの命を取り留めることは可能であったが、Yがナイフを抜き取ってしまったことでかえって動脈を傷つけ、Xの出血多量に繋がったものであった。

- 4 甲は、公園の外に駐車していた自己のバイクまで辿り着いたが、後ろを振り返ると、Yが短刀を持ったまま迫ってくるのが見えたので、そのまま自分に襲いかかってくるのが予期できた。甲はそのままバイクに乗って走り去ることもできたが、「兄弟共々しつこい奴らだ。」と思い直し、Xを刺したのとは別のナイフを取り出し、「このナイフで返り討ちにして、仲良くあの世に送ってやる。」と決意し、その場に止まった。数秒後、甲は、短刀を振りかざしてきたYの攻撃をかわすと同時に、素早くYの背後に回り込み、殺意をもってYの頸動脈を切り裂いた。Yは出血多量により死亡した。

以 上